



# つづく つながる 夢を育てる学び舎 国立二小だより

令和8年(2026年)1月29日

国立市立国立第二小学校

校長 内田 辰彦

## 心豊かに

副校長 後藤 茂敦

1月24日(土)の学校公開では、たくさんの保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。延べ400名ほどの来校があり、多くの保護者や地域の方々に関心をもっていただき大変うれしく思います。

さて、先日は、令和7年度の「学校評価アンケート」へご協力いただきありがとうございました。回答率は全家庭の約44%(430世帯中190件の回答)で、昨年度の33%から10%ほど上がりました。しかし、依然5割を切る現状であるため、今年度実施したリマインドメールだけでなく、回答率を上げるための工夫を今後も行なってまいります。今年度は、アンケートの項目を厳選し、質問内容を昨年度から一部変更しています。例えば、「学校は…」としていた質問を、「子供たちは…」というように、質問の主体を変更しました。以下に、項目ごとの学校としての分析をお伝えいたします。

「かしこく」の項目については、3項目すべて8割を超える肯定的な回答でした。その中で肯定的評価が高かったのは、「子どもたちは、授業で一人一台端末を活用しながら学習し、自分の学びに生かしていますか」について、肯定的な回答が89%でした。二小では、学習の様々な場面で積極的に一人一台端末を活用し、個別最適な学びが充実するよう力を入れて取り組んでいます。引き続き、子どもたちが自己選択・自己決定・自己調整できる学習が推進できるよう努めてまいります。

「あたたかく」の項目については、4項目すべて8割を超える肯定的な回答でした。最も肯定的評価が高かったのは、「学校は、分かりやすく整った環境を整備して授業を行っていますか」について、肯定的な回答が97%でした。二小では、ユニバーサルデザインを取り入れ「見てすぐに何をすべきか分かる」環境をどの学級でも整えるように努めています。例えば、黒板周りにできるだけ掲示物を貼らないようにして、授業に集中しやすい環境づくりに取り組んでいます。その他にも、授業の流れがわかる構造的な板書、デジタル教科書を使った視覚的に分かりやすい教材提示を行っています。今後も、子どもたちにとって分かりやすい授業を学校全体で進めてまいります。

「つよく」の項目については、4項目すべてで8割を超える肯定的な回答でした。最も肯定的評価が高かったのは、「学校は、食物アレルギーへの対応を含め、安全な給食に取り組んでいますか」について、肯定的な回答が98%でした。アレルギー対応食のトレイの色を変える等、児童も教員も視覚的に分かりやすい対応を行っています。今後も、子どもたちが安心安全な生活が送れるよう、給食ステーションと連携しながら進めてまいります。これらの結果は、先日実施した学校運営協議会の中でも報告しました。結果について委員の方から評価をいただき、改善点を今後の教育課程へ生かしてまいります。学校評価の詳細は、すぐる配信したまとめをご覧ください。

冒頭で話題にした学校公開では、4校時に道徳授業地区公開講座としてオーケストラ・マミューズの方々をお招きした公演を行いました。「心豊かに」をテーマに、まさしく心を震わせた贅沢な時間を参加した皆様と共有できました。今後も、子どもたちの心を豊かに育てる教育を教職員一丸となって進めてまいります。

アンコール曲♪ありがとうの花♪ 曲の途中の手話を使う場面では、会場が一つになりました。

